

仙北の風

すずかのかぜ

VOL.
39

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院広報誌

新たな筋ジストロフィー治療薬誕生

院長 久留 聰

新任者の紹介

新規採用職員・転入職員紹介

名誉院長の部屋

「四股を踏み、九ちゃんソングを口ずさむ。」

地域医療連携室だより





新たな筋ジストロフィー治療薬誕生

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院 院長 久留 聰

今年は新型コロナウイルスが猖獗を極めていますが、明るいニュースもあります。

このたび日本で初めてDuchenne型筋ジストロフィー(DMD)の治療薬が承認となりました。待ちに待った新薬の承認です。いままでは、残念ながら疾患の進行を遅らせるような薬がなかったのですが、今回承認となったお薬は、DMDで不足していたジストロフィンという蛋白を増やす作用があります。DMDは遺伝子の病気で、DMD患者さんはジストロフィン蛋白を作るための設計図となる遺伝子に不具合(変異)があるため、ほとんどジストロフィン蛋白を作ることができません。ジストロフィン蛋白は、筋肉を機能させたり維持するために大変重要な役割を

担っているので、これが足りないと筋肉がどんどん痩せていってしまいます。ということは、この病気を治療するには筋肉にジストロフィンを発現させることが必要となる訳です。DMDの類縁疾患にベッカー型筋ジストロフィー(BMD)という病気があります。DMDではジストロフィンをほとんど作れないのに対して、BMDでは十分ではないものの作ることができるので、症状はDMDにくらべて軽症です。新薬の作用でジストロフィンの発現量は増加しますが、残念ながら健常人の量にまでは及びません。単純にジストロフィン発現量が筋症状と比例すると仮定すると、この薬の効果は、DMDの症状をBMDの程度にまで軽減するものということになります。また、新薬は「エクソン



平野 隆司

薬剤科長

国立長寿医療センターより赴任して参りました。三重県での勤務は初めてとなります。国立病院機構での勤務は3年ぶりですが、それ以前は7年間、名古屋医療センターで臨床研究・治験の業務に従事していましたため、国立病院機構の薬剤科業務としては10年ぶりとなり、新鮮な気持ちです。筋ジストロフィー、重度心身障害に係る業務経験が無く不安な面もありますが、鈴鹿病院の発展に微力ながらも貢献できるよう努力していく所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願ひいたします。



米田 昭代

臨床検査技師長

この度、三重中央医療センターより赴任してまいりました。

鈴鹿病院勤務は今回が初めてで、身の引き締まる思いですが、この病院で皆さんと一緒に働くこのご縁を大事にしたいと思っています。臨床検査科は、これからもチーム医療の一員として「迅速かつ正確な検査結果を提供する」をモットーに、病院の理念に取り組んでいきますので、皆さん、どうぞよろしくお願い致します。



権野 さおり

副看護部長

三重中央医療センターから転勤してきました副看護部長の権野です。かつて西2階病棟と第1病棟で看護師長を務めていました。たった2年離れていただけですが、古巣に戻ったような懐かしさを感じます。「おかえりなさい」という言葉とともにあたたかく迎えていただき、嬉しく思いました。副看護部長としては、3年目のひょっこです。わからないこともたくさんあり、看護部長はじめ周囲の方々のご指導とご支援をいただきながら誠心誠意努めています。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、全世界がかつてない危機に直面しています。明けない夜はありません。少しでも皆様のお力になれるよう頑張りますのでよろしくお願いします。



田島 伊一

専門職

令和2年4月1日付で国立長寿医療研究センターから赴任してきました田島です。鈴鹿病院は医療と福祉の両輪で成り立っており制度を理解し、業務に支障がないように対応していきたいと思っております。

微力ながらスタッフの一員として携わっていきますので、よろしくお願ひいたします。



近藤 由里子

教育担当看護師長

この度、豊橋医療センターより配置換えで参りました近藤でございます。この病院での勤務は初めてですが、鈴鹿病院附属の看護学校が閉校となる前の平成5年10月から5年半の間、教員として勤務しておりました。今も桜の花が美しく咲き誇り、昔と変わらない様子に懐かしい気持ちでいっぱいになりました。また、着任の挨拶に伺ったところ、その頃学生であったスタッフの方々に声をかけていただき、恐縮いたしました。鈴鹿でお世話になってから二十数年、外見だけが年を重ね、人間としてはまだまだ未熟です。皆さんに迷惑をおかけしないよう、また、常に感謝の気持ちを忘れず頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

新任者の紹介

introduce our new member



伊藤 良

療育指導室長



静岡てんかん・神経医療センターから転任して参りました。三重県での勤務は初めてですが、実家の岐阜が近くなり親しみが湧いています。単車にも乗っていたので、鈴鹿サーキットも憧れの場所です。とはいっても今は浮かれている場合ではなく、不要不急の外出は控えております。

当院は、療養介護事業や医療型障害児入所など、障害福祉サービスの病床数がとても多いので、虐待防止や意思決定支援など、福祉職として取り組むべき課題も沢山あるとかがっております。新型コロナウイルスが入院生活にもさまざまな影響を及ぼす中、少しでも患者さんの生活の質が維持・向上できるよう努めて参りたいと思います。

皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



寺田 英生

庶務班長

この度、榎原病院より赴任して参りました寺田と申します。出身は三重県津市で鈴鹿はお隣の市になります。鈴鹿は鈴鹿サーキットやホンダなどのイメージがありますが、鈴鹿病院の敷地内の桜も美しく環境面でも恵まれている感じました。

庶務ということで、人事など新たなことばかりですが、少しでも早く仕事を覚え鈴鹿病院のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願ひいたします。



數田 知之

前年度までは非常勤医として勤務していたため面識のある方もあるとは思います。が、4月からは常勤医として勤務することとなりました。心機一転して励んでいきますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。



津川 飛奈太

至らない点は、たくさんあると思いますが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。



澤村 梨奈

患者さんとの日々の関わりを大切にし、精一杯頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



中川 柚起

何事にも前向きに一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



三谷 加奈

緊張や不安はありますが、一人一人に寄り添った看護を行えるよう頑張りたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いします。



中村 みなみ

夢であった看護師になれた喜びを力に変えて、自身の成長につなげていきたいです。新しい環境で不安もありますが、先輩方のご指導や同期の方々の支えを受けながら頑張りたいです。よろしくお願いいたします。



青木 俊樹

体調管理をしっかりとしながら、少しでも早く戦力になれるよう、努力していきます。よろしくお願ひします。



早川 菜摘

患者さんを知り、個別性のある看護を行っていきたいです。これかよろしくお願いします。



太田 汐香

安全安楽で個別性のある看護を提供できるように日々向上心を持ち、知識・技術を身につけて行きたいと思います。精一杯頑張りますので、ご指導の程よろしくお願ひいたします。



下田 葵

健康に気をつけて頑張ります。日々、努力してまいりますのでよろしくお願ひします。



奥田 桃可

患者さんに信頼していただける看護になれるよう、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。



大南 智晴

日々努力し、患者さんの思いに寄り添った看護ができるようになるために一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願ひいたします。



曾我 美月

患者さんやご家族に寄り添い、個別性に応じた看護を行えるよう頑張っていきたく思います。よろしくお願ひします。



川口 裕輔

至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、全力で看護師として頑張ります。よろしくお願ひします。



永田 もえ

日々、自分にできることは何か考えながら、患者さん一人一人と向き合った看護をしていきたいです。笑顔を忘れずに頑張りたいと思います。



福岡 七海

既卒で入りました。看護経験年数は浅いので病棟の方々に指導していただいたところをしっかり勉強して、早く慣れることができるように頑張ろうと思います。よろしくお願ひします。



春日 康太郎

患者さんのQOL向上を目指した看護ができるよう頑張っていきます。



小林 愛実

患者さんに寄り添った看護を行えるように、確かな技術を身につけつつ、笑顔で頑張りたいです。慣れない部分もあると思いますが、よろしくお願ひします。



矢谷 梨乃

患者さんの個別性を考えた看護がしたいと思い鈴鹿病院に転職して参りました。たくさんのご迷惑をおかけすると思いますが、自分自身ができるることを精一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。



永田 知佳

初めまして。熊本南病院から異動になりました。早く皆さんのに少しでも慣れれるよう、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。また熊本から来たばかりで土地のことわからぬので色々教えてください。



谷間 有子

三重中央医療センターへより転勤し、外来へ配属となりました。約30年前に鈴鹿病院附属の看護学校を卒業しましたが、働くのは初めてです。新しい環境に慣れて頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



角田 智哉

新卒時よりお世話になっていた鈴鹿病院なので、4月1日に病院内に入ったときは何だかほっとした気持ちになりました。経験してきたことを活かし、病棟看護に貢献したいと思います。



立川 里紗

三重中央医療センターへより異動で参りました。新生児科経験のみで不安がありますが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

新規採用職員 転入职員紹介



医学 コラム

4月から臨床研究部長を拝命することとなりました。とはいっても、当院に来てから2年には満たない私にとって、脈々と続く病院の歴史、その下で長年にわたり仕事をされてきたスタッフ、患者さん達から聞く話は吸収すべきことが多い毎日です。

臨床研究・治験についてこちらもご覧ください

鈴鹿病院ホームページ
<https://suzuka.hosp.go.jp>
「診療科・部門」▶「臨床研究部」



厚生労働省ホームページ
<https://www.mhlw.go.jp>
「治験について（一般の方へ）」



「臨床研究」というと、輝かしい研究者を目指すことを想像するかもしれません。しかし、「臨床研究の経験」には、もっと大切なことがあります。研究計画と堅苦しく考えず、「料理を作る」と考えてください。料理は、最初に何を作るかを決めてから、材料を調達し、それを調理するもので、逆はしません。研究も同じです。ポスター発表は、服の着こなしと考えてください。結果とワンポイントの考察というアクセサリーを如何にお洒落にみせるか、そのために色や配置を考えます。そして、

臨床研究部長 牧江 俊雄



2月20日（木）鈴鹿保健所と共に「神経・筋難病医療福祉従事者研修会」を開催しました。

今回は午前・午後の2部構成で介護支援専門員、相談支援専門員、介護福祉士などを対象におこないました。疾患の講義一言語療法士の講義一多種種による研修生参加型の寸劇を行い、在宅支援がイメージできた等の意見を頂きました。

今後も在宅療養支援として医療福祉従事者様のニーズに答えられる研修を企画していきたいと思います。

名誉院長の部屋

名誉院長 小長谷 正明

四股を踏み、 九ちゃんソングを口ずさむ。

「時は令和の御時二年のことございました。世界のいかなる国と比べてもこよなく繁栄した平和な國、日本のにあの疫病が発生しました。ついこの間、遙か遠く唐の國の長江のほとりで発生し、数知れぬ人命を奪いました。疫病は一力所に留まらず、次々と他の土地へ飛び火して、世界のあらゆる方角に向けて蔓延してまいりました。」

ボッカチオ風に書くとこうなるでしょうか。黒死病（ペスト）が中世イタリアのフィレンツエを襲ってきた時の有り様を、ボッカチオという人の『デカメロン』という小咄集の冒頭に書いています。

2019年の大晦日に中国湖北省武漢で「原因不明のウィルス性肺炎」と報告されてから、瞬く間に、この新型コロナウィルス感染症（COVID19 : Corona virus Disease 2019）は中国全土、日本、そして世界中に広がっていきました。武漢が封鎖都市になり、イタリアやスペイン、アメリカなどで感染者が爆発的に増加し、さらに治療薬がない上に、重症者が亡くなりやすく、急激な患者数増加から医療崩壊をきたすことなどから、パンデミック（世界的大流行）となってしまったのです。各国政府は非常事態宣言を行い、出入国制限や市民の外出規制まで行う状況となっていて、日本も例外ではありません。

しかし、『デカメロン』のように、疫病の町から逃れようと思っても、郊外に山荘などは持つてはいませんし、お色気話で盛り上がるような歳はすぎました。気晴らしにと思っても、観劇も旅行もできなくなり、おまけに、父の33回忌の法事も、出席予定だった学会も吹っ飛ばされてしまいました。目に映る花や景色に色彩はあっても、心の中には彩りが湧かず、モノクロの日々です。

そこで、にわかにできた時間と心の

人集団に潜んでいる何らかの医学的要因か？いずれ、学問的に検討されることでしょう。

だが、オーバーシュートとかロック・ダウンなどと耳慣れない片仮名言葉を使って、あれダメこれダメとどや顔の政治家や、やたらに大変だと叫んでいるだけのキャスターとコメントーターを連日テレビで目にしているうんざりで、心が萎えてしまいそうです。そういう中で、無観客場所ながらも大相撲春場所での八角理事長のあいさつが心強かったです。初日には、この感染症に触れてから、次のように続けました。

「古来から力士の四股は、邪惡のものを土の下に押し込む力があると言われてきました。また、横綱の土俵入りは五穀豊穣と世の中の平安を祈願するために行われてきました。」

また、千秋楽でも、その所作はおよそ1500年前から先人によって脈々と受け継がれてきましたと述べています。

東西に分かれている力士たちが頼もしく見え、やはり、大相撲は単なるプロ・スポーツではなく、国技です。といえば、奈良の東大寺の大仏も、天平の疫病と内乱のあとに、聖武天皇が国家鎮護の思いで造仏されました。富士山と同じく、不動の姿に心の動搖が鎮まりますね。

そして、つい、少年時代に流行った九ちゃんソングを口ずさんでしまいます。

明日があるさ、明日がある・・・。上を向いて歩こう・・・、と。



■外来診察担当表 (2020年5月1日現在)

	月	火	水	木	金
脳 神 経 内 科	小 長 谷	酒 井	久 留	小 長 谷	久 留
	木 村		南 山		
内 科	野 口	野 口	牧 江	落 合	
		落 合			
小 児 科		予 約			予 約
整 形 外 科		田 中 (装 具 外 来)			田 中
リハビリテーション科		田 中			田 中
皮 膚 科		予 約 (午 前)			予 約 (午 後)
歯 科	滝 川 (午 前)	留 奥 (午 後)		奥 村 (午 後)	
禁 煙 外 来	野 口				

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越しください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。



社会も徐々に落ち着きを取り戻しつつあるなか、新緑が美しい季節になりました。新人さんも徐々に慣れてきたこの時期、自分自身も常に初心にかえりながら、いつまでもフレッシュさを忘れずに居たいものです。

地域医療連携室 山方

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel 059-378-1321㈹ Fax 059-378-7083 <https://suzuka.hosp.go.jp>

令和2年6月発行

表紙題字：草深絢香（給与係） 表紙写真：館園生（ボイラー技師）